

長崎県獣医師確保対策における 五島での取り組みについて

五島振興局 家畜衛生課
千木良夏美

家畜保健衛生所（家保）の仕事

■ 家畜伝染病の発生予防及びまん延防止

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守指導
- ・ 発生予察、定期検査の実施
- ・ 防疫演習の実施



■ 生産性を向上させるための農家指導

- ・ 畜舎の衛生管理について農家への指導
- ・ 飼養管理を含む繁殖成績向上にかかる指導
- ・ 原因究明のための病性鑑定検査



■ 法令遵守の指導

- ・ 獣医師や家畜人工授精師への指導



獣医師の職域

農林水産分野

- 家畜の診療
- 家畜伝染病の防疫
(国内防疫・動物検疫)



公衆衛生分野

- 食肉検査 (食肉等の安全の確保)
- 狂犬病等の予防
- 食品衛生監視・指導



野生動物分野

- 動物園・水族館動物の診療
- 野生動物の保護・管理

獣医師の
活動分野



小動物診療分野



バイオメディカル分野

- 動物用・人体用医薬品の開発



動物愛護・社会福祉分野

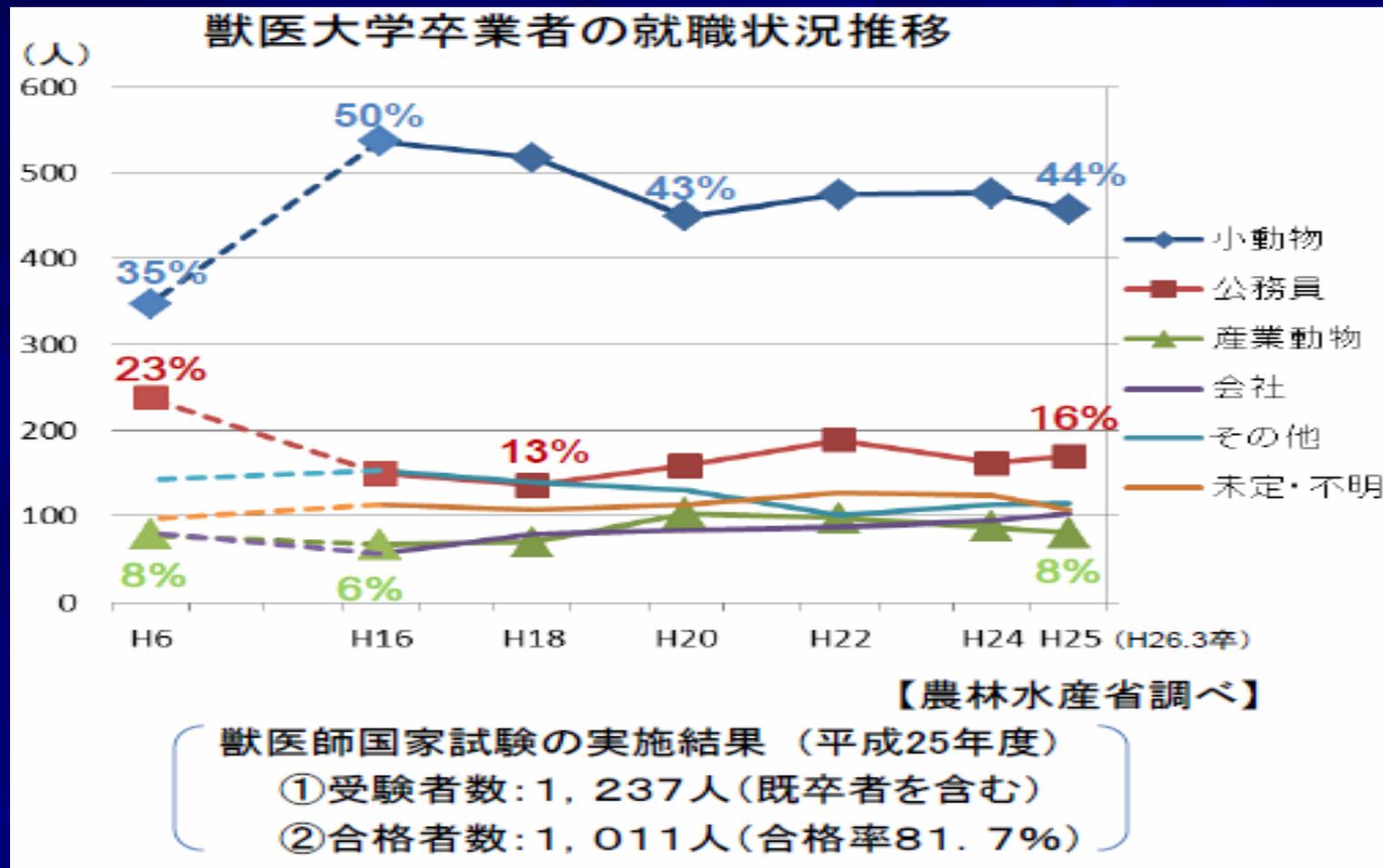
- 家庭動物や学校飼育動物の飼育指導

海外技術協力分野



ヒトを含めた多くの「いのち」が対象の仕事

獣医大学卒業者の就職状況

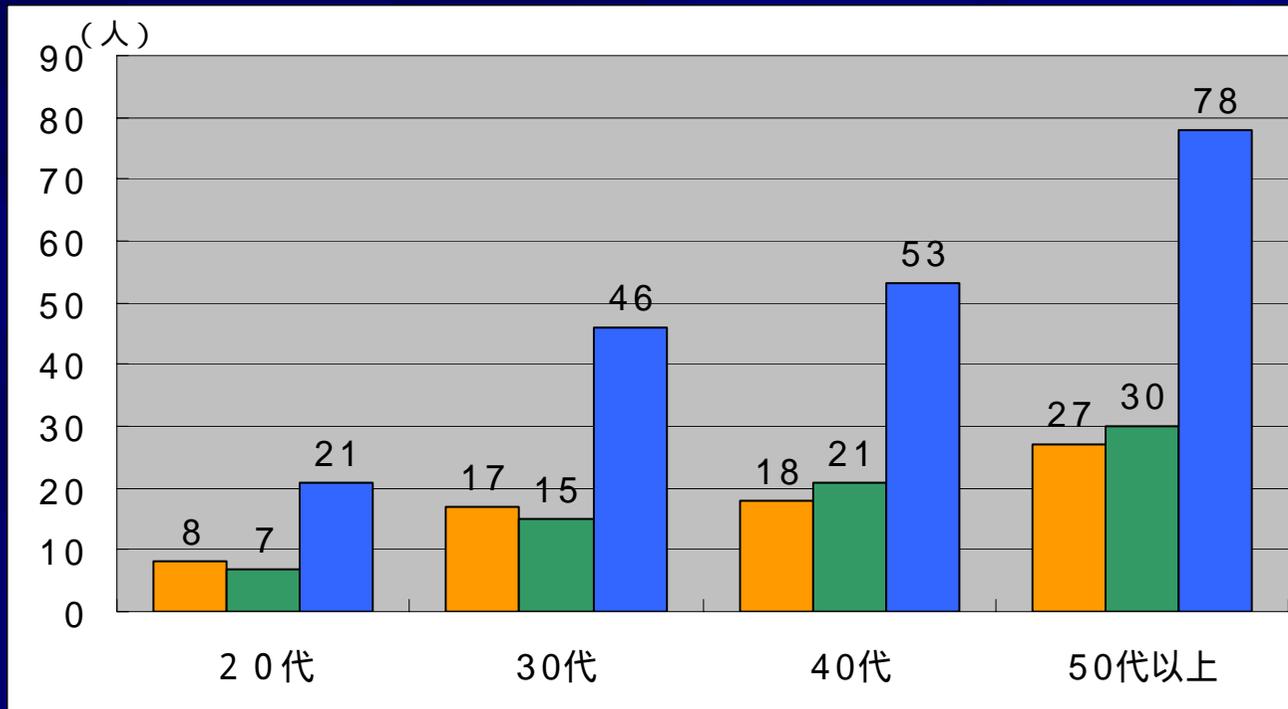


新規免許取得者の多くが小動物診療分野へ

職域の偏在化が進行

本県の現状

■ 年代別職員構成（家畜保健衛生所・県全体）



：農林部県職員

：衛生部県職員

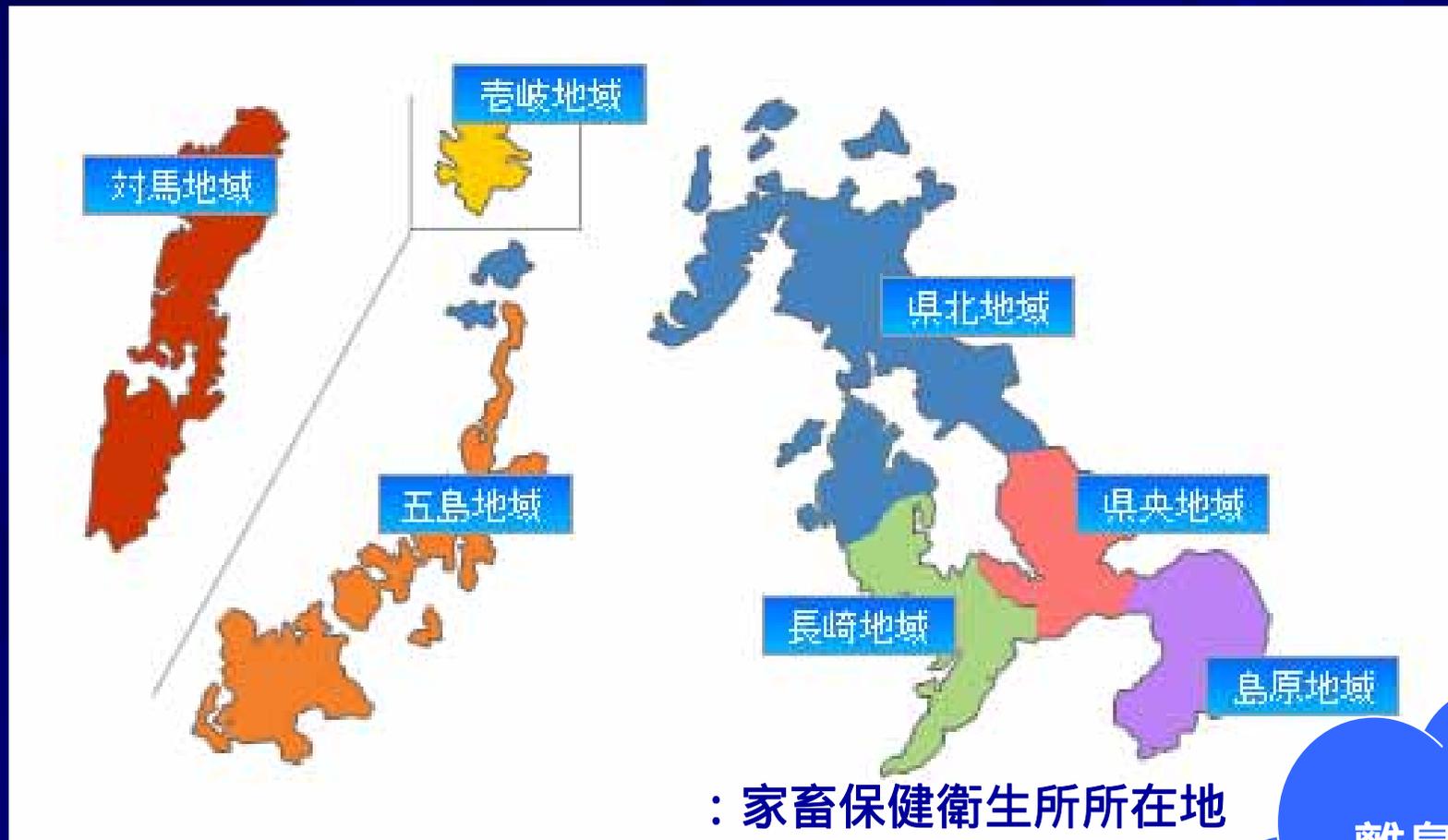
：県全体産業動物獣医師

■ 欠員数および再任用職員数（県職員）

欠員　　： 3名（農林部 2名、衛生部 1名）

再任用　： 6名（農林部 2名、衛生部 4名）

家保の所在地



勤務地の半数が離島

?



離島勤務への不安が敬遠される一因...?

本県の獣医師確保の取り組み

- 高校生への進学セミナー
- 長崎県獣医師インターンシップ研修
- 長崎県獣医修学資金貸与事業
- 大学窓口担当者とホームページでの情報提供
- 新人家保職員農家研修

業務改善

■ 高校生への進学セミナー

平成25年度

五島高校より依頼

出張授業の実施

平成26年度

管内全校へ紹介

要望のある高校へ出張

■ 長崎県獣医師インターンシップ研修

平成25年度

畜産課・家保で
研修内容の協議

研修実施

平成26年度

昨年度の意見を参考に素案の作成

研修生への事前アンケートの実施

研修実施

高校生への進学セミナー

- 五島高校にて出張講義を実施（平成24年度～）



初めて家畜保健衛生所の仕事を知った
病気を治すだけが仕事ではないと知った

問題点

幅広い職域を知らない

地元出身の新規獣医師がいない

学費（授業料・教材費など）が高い

進路選択前の高校生への情報発信の強化の重要性

高校生への進学セミナー

改善点

管内の全ての高校へ出張講義の周知

管内高等学校一覧

五島高校

五島南高校

五島海陽高校

奈留高校

上五島高校

中五島高校

現在、要望のあった1校で実施済。

他校についても日程調整中。



パワーポイントを用いて業務等説明



獣医師の職域の広さを知った
大動物に関わる獣医師の仕事に興味
地域とつながった仕事ができる

平成25年度 長崎県獣医師インターンシップ研修

- 実施期間：平成25年8月19～23日
- 実施場所：五島家保（五島市）
- 参加者：6名（大学4、5年生）
- 協力機関：五島振興局、五島保健所、NOSAI県南五島支所、五島獣医師会、ごとう農協
- 研修内容：各種検査、農家巡回、畜産関係施設巡回、保健所研修、家畜診療所研修、肉用牛大学など



平成25年度インターンシップ 意見交換会およびアンケート調査結果

主な意見

- 思ったよりも都会
- 関係機関が協力的で働きやすそう
- 離島勤務は大きな魅力

要望

と畜場を見学したかった
解剖等病性鑑定も実施してほしかった
家保の業務について、もっと長く実習したかった

平成26年度 長崎県獣医師インターンシップ研修

- 実施期間：平成26年8月25～29日
- 実施場所：五島家保（五島市）
- 参加者：3名（大学5年生）
- 協力機関：五島振興局、五島保健所、NOSA|県南五島支所、五島獣医師会、ごとう農協



平成26年度 長崎県獣医師インターンシップ研修

改善点

- 1．昨年度の結果を元に内容を一部変更
- 2．事前アンケートによる希望調査の実施

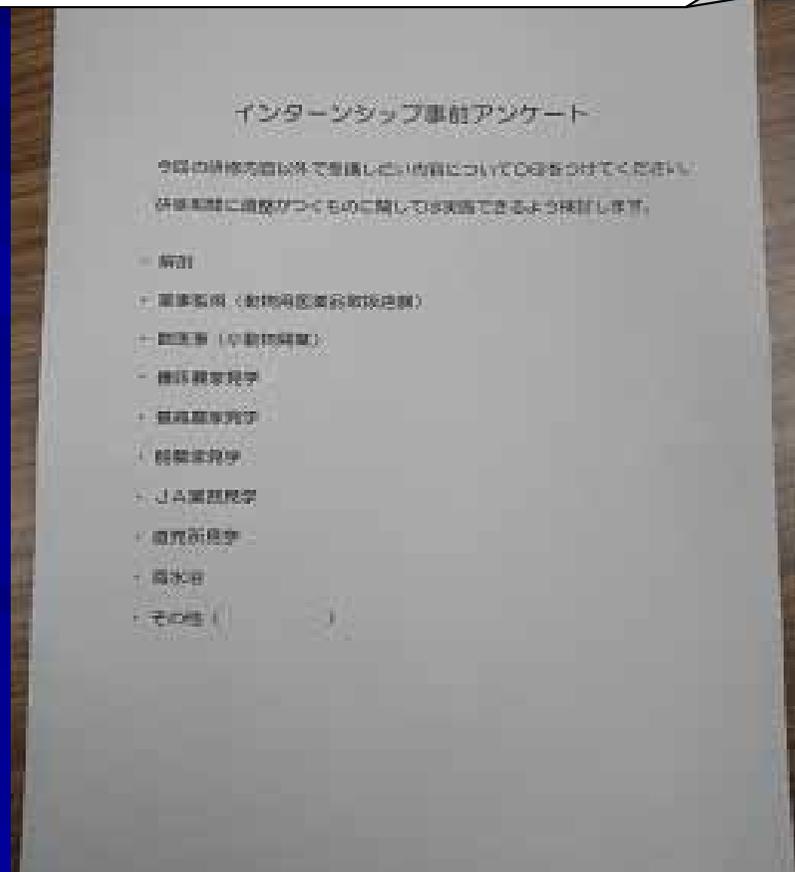
アンケート実施方法

■ 内容

あらかじめ決められた研修内容に加え、**獣医事、薬事等の行政業務**を選択可能に。

■ フィードバック

集計後、**自由研修等の空き時間**に対応できるものを実施。



平成26年度研修内容

	8/25 (月)	8/26 (火)	8/27 (水)	8/28 (木)	8/29 (金)
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開校式 ・臓器を用いた直腸検査実習 ・病性鑑定実習 (解剖) 	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛繁殖農家巡回 ・畜産関係施設巡回 ・各種検査 (抗体検査 血液検査 糞便検査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・と畜場見学 (保健所研修) ・全共事前説明会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜診療所研修 ・獣医事研修 (動物病院への立入検査) ・養鶏農家巡回 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会 ・閉校式



臓器を用いた直腸検査実習



肉用牛農家巡回での直腸検査体験



と畜場（食肉センター）見学



全国和牛能力共進会の事前説明会への参加

平成26年度インターンシップ 意見交換会およびアンケート調査結果

■ 家保の業務について

- ・地域の獣医師が良好な関係を築いており好印象
- ・家保の仕事も農家との距離が近いことを知った

■ 研修内容について

- ・と畜場見学で実際の作業風景を見られて良かった
- ・直腸検査前に、臓器を用いて練習でき良かった

■ 五島について

- ・生活にさほどの不便はないと感じた
- ・自然が豊かで食事も美味しかったのでまた来たい

業務改善の成果

■ 高校生への進学セミナー

- ・ 進学セミナーの存在を知ってもらえた
- ・ 幅広い職域を知り、興味を持ってもらえた

■ 長崎県獣医師インターンシップ研修

- ・ 研修内容の充実により、幅広い業務を知ってもらえた
- ・ 研修生の満足度が向上した

県職員採用試験：昨年度受講生のうち、2名が受験し、合格。

研修応募者数：6名（平成25年度）

11名（平成26年度）

まとめ

■ 高校生への進学セミナー

獣医師の仕事への関心は高いが、認知度が低い職域の存在

継続的に幅広く実施することで地元出身の獣医師を育成

■ 長崎県獣医師インターンシップ研修

離島勤務への不安が払拭、家保の業務へのイメージアップ

**継続的に離島の魅力を活かした
ニーズに合わせた内容の検討を実施することで、
よりよいインターンシップを開催**